

大手前短期大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム リテラシーレベル

令和5(2023)年度 自己点検・評価

自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	教務課において、プログラムの履修・修得状況を把握することができる。また、総合学修システム「el-Campus」の活用により、受講者の講義演習進捗状況や課題への回答状況を把握することができる。
学修成果	教務委員会において分析している「CPLATI」の項目を分析することによって、授業内容の学生の理解度を把握することができ、その結果を教学運営室と連携し、本教育プログラムの評価・改善に活用できる体制にある。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	本教育プログラム受講者全員に対して授業アンケートを実施しており、教務委員会において学生の理解度を分析できる体制にある。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	本教育プログラムを構成する科目において、授業アンケートとは別に学期途中に実施する中間アンケート「C-POS」で記された受講の感想等の意見を集約し、年度初めのオリエンテーションにおいて、講義受講の推奨に活用する体制にある。 また2023年度秋学期に「AI・データサイエンスの扉(大学・短期大学共通科目)」を履修した263人(大学・短期大学1・2年生; 匿名のため識別不能)を対象に「あなたは、この科目の受講を後輩や他の学生に勧めたいと思いますか」の設問でアンケートを実施したところ、217人回答中「勧めたい・どちらかといえば勧めたい」に回答した者が計207人(95.4%)と、推奨度が高い結果が得られた。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	本教育プログラムを構成する科目「AI・データサイエンスの扉」を令和5年度より全3学科で開講し、履修者数、履修率の向上に向けて推進している。また、「教務委員会」において、各学科における数理・データサイエンス・AI教育の内容について見直し等を検討し、より学生の履修を推進している。

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	卒業生調査において、本教育プログラムを修了した卒業生の進路先や活躍状況の把握が可能である。また卒業生の就職先の企業に対して企業調査を実施し、本教育プログラムを修了した卒業生における採用状況や企業評価を把握することができる体制にある。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	卒業生の就職先やインターンシップ先を中心とした企業と本学による「外部評価委員会」において、教育プログラムの講義内容及び実データを活用した演習等の手法について意見を収集するとともに、自己点検・評価委員会においてプログラムの改善に活用している。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	モデルカリキュラムに準じた内容を展開し、時事やトレンドなど社会での実例をもとにAI等がどのような活用をされているかを中心に好奇心を促す講義内容としている。また統計的なデータの分布については、できるだけ視覚的にとらえやすい事例を挙げるよう努めている。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	教務委員会において、学生アンケートの意見を参考に、学生の「分かりやすさ」「満足度」の観点から講義の内容・実施方法の見直しを検討している。